

かぶしがいいしゃさんびれっじしまんと

いっばんしゃだんほうじんしまんとのうさん

# (株)サンビレッジ四万十 (一社)四万十農産

～触れてみたい・住んでみたい影野村づくり～



サンビレッジ四万十・四万十農産の皆さん



未来の影野むら



田植から粃摺りまでの体験学習

## 経緯

- 平成11年に設立した「影野の農業を考える会」を経て、平成13年に高知県初の「1集落1農場」方式による集落営農組織「ビレッジ影野営農組合」を設立。
- 雇用の確保、営農の継続性確保のため、平成22年に農事組合法人となり、平成26年に株式会社へ移行。
- 平成29年には広域組織の四万十農産を形成する。

## 取組内容

- 経営の安定化に向け畑作中心とした土地利用型園芸作物(サトイモ、エダマメ、生姜、ネギ、施設ピーマン等)を導入、規模拡大など経営の複合化に取り組む。一方、水稻は四万十農産との輪作体系を実践。
- 両組織で若い従業員8名の育成、集落内の女性17名を臨時雇用するなど、人材育成と雇用を創出。
- 環境に配慮したソーラーシェアリング、圃場環境の美化、農道への梅の木の移植など多面的機能の増進。

## 活動の効果

- 女性・高齢者の就労の受け皿になっており、「地域を守る法人」「就労の場」と認知度が向上中。
- 農地集積面積は11haから26haに増加、雇用人数は3名から8名に増加(H25→R2)
- 持続可能な農業の仕組みづくりがスタートしたことにより、地域に就農希望者が生まれだした。
- 農業が活性することで、地域の魅力アップが出現。
- 畑作化や耕作放棄地の解消に伴う栗・ゆず栽培開始により新産業づくりの声が聞こえだした。
- 県外からの視察も増加(多い時には3回/月)。
- 集落営農の広域化、集落活動センターなど農業以外の組織との連携も強化。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

周年栽培の取組みや野菜の契約栽培と規模拡大、農産物の加工、観光農園等を利用した消費者との交流、商品の高付加価値化等経営の多角化に取り組むことで、地域で一人でも多くの雇用を確保し、地域農業を後世に繋げていきます。

URL:<http://village-kageno.jp>